

定 藤 規 弘

(総合科学技術研究機構)

Well-being × システムレベル脳神経科学



画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社

人間の脳がどのように働くかを研究しています。特に、考えたり、覚えたり、行動したり、感情を感じたりすることに関する脳の活動を調べています。私たちは、人が幸せに生きるために大切な3つの要素（心と体の健康、お金、社会で認められること）の中で、特に「社会で認められること」に関する脳の仕組みを明らかにしてきました。

この研究では、脳が活動するときに起こる血の流れやエネルギーの使い方の変化を調べるために、機能的MRIという脳の画像を撮る方法を使っています。これにより、脳がどのように働いているかを動きのある大きな視点で理解しようとしています。

特に、脳のどの部分がどのように働いているか、またそれらがどのように連携しているかを画像で見ることで、感覚が失われたときの脳の変化や、成長や学習によって新しい能力を身につけるときの脳の変化を探っています。これにより、脳がどのように柔軟に変化するか、その仕組みを解明しようとしています。



所 属

総合科学技術研究機構

研究テーマ

- コミュニケーションの神経基盤
- 学習に伴う脳の可塑性
- 時間知覚

キーワード

脳可塑性、社会能力、情動、自己、学習

hyperscanning fMRI による社会的共有の可視化

社会的共有の神経基盤を可視化

乳児行動観察

社会的共有の神経基盤を可視化

